

調布市防災教育の日

～避難所のトイレや運営について考えてみませんか～

平成30年4月28日（土）

市立小・中学校全校一斉実施

避難所運営訓練時に各小・中学校の避難所における
トイレの確保・管理について考える訓練を実施します



避難訓練後の消防署員による講評

災害時に水道が止まったら どのトイレを使いますか

過去の災害では、トイレが確保できず、避難所の衛生・健康状態が大きく損なわれました。災害時のトイレ対策について、一緒に考えてみませんか。

平成30年度「調布市防災教育の日」では、全小・中学校で、避難所におけるトイレや運営について考え、設置する訓練を行います。

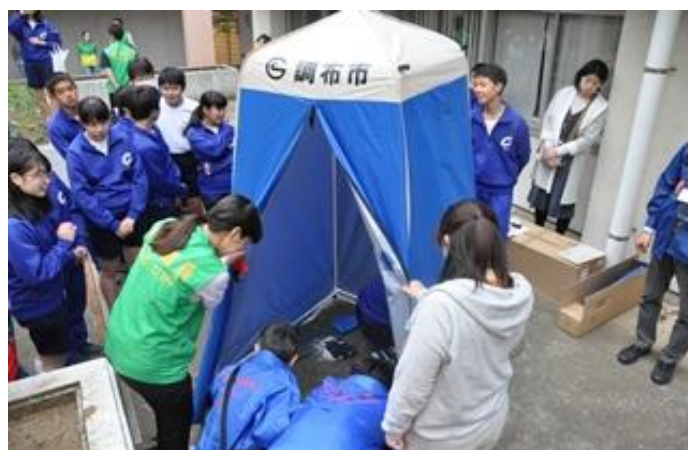
災害用トイレの例



調布市教育委員会では、平成23年に発生した東日本大震災を教訓に、毎年4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」としました。

児童・生徒のみならず、**保護者や地域の皆さんも参加できる防災公開講座や避難所開設・運営訓練**などを実施しています。

- 【内容】
- 学校公開日として、共通で取り組みます。
- ①「命」の授業を1単位時間実施
 - ② 防災について保護者や地域への啓発講話
 - ③「震災時対応シミュレーション」の検証
 - ④ 各学校の工夫により防災教育の日に関わる活動を実施
- ※ 各学校で実施内容や一日のスケジュールが異なります。詳細は調布市のホームページに掲載します。



トイレ組立・設置訓練の様子

【お問い合わせ】

調布市教育委員会教育総務課
調布市小島町2-36-1
TEL 042-481-7465